



平和祈念の『織づる』の展示について

桐生市遺族会より寄贈された「織づる」を、8月2日（月）から8月13日（金）まで1階玄関ロビーに展示いたします。

- 日時 令和3年8月2日（月）から8月13日（金）まで
8時30分から17時15分（土、日、祝日を除く）
- 場所 桐生市役所1階 玄関ロビー
- 内容 7月5日に桐生市遺族会より寄贈された「織づる」を玄関ロビーに展示いたします。
この「織づる」は、平和への想いを広く届けるため、市内小学校に通う6年生の女生徒（現中学1年生）が、古くからの伝統技術を活かした桐生織を用いた折り鶴、『織づる』という、新しいアイデアを思いつき、桐生市遺族会が呼びかけ、「森秀織物株式会社」（東4丁目）、「永島表具店」（新宿2丁目）が高い技術力を結集させて、織物としては「国内最大級」のサイズとなる「織づる」を完成させたものです。
世界で唯一、鳴神山系にのみ自生する「カッコソウ」柄を全面にあしらったユニークなその演出も、「桐生らしさ」を、という願いをより際立たせる注目のポイントです。
また、女生徒は「広島市へ2021羽の折り鶴を送りたい。」と考えており、折り紙も設置いたしますので、市民の皆様も平和への想いをこめて折り鶴作成のご協力をお願いいたします。
併せて、戦争当時を経験している遺族は少なくなっており、戦争の悲惨さや平和の大切さを、後世の方たちにもしっかりと伝えていきたいと、昨年度、コロナ禍の影響によって中止となった桐生市戦没者追悼式の様子や、市内7か所の忠霊塔等の写真も展示し、平和の尊さについて啓発を行います。



【問い合わせ】
保健福祉部福祉課社会福祉係
担当 吉田、渡邊
TEL 0277-46-1111（内線271）